

英語ニュース教材 8月休刊のお知らせ

8月1日～31日の1ヶ月間、英語ニュース教材の発行をお休みさせていただきます。

※7/1(月)午後、皆様への一斉送信メールでお知らせしました。

メールが届いていない方もいらっしゃると思うので、念のため、こちらでもお知らせします。

[1ヶ月の休刊の理由について]

普段、英語塾の講師をしながら、すきま時間に英語ニュース記事を読んで教材を執筆していますが、

今年度は、私が指導担任する受験生(特に高3)の人数が通常より多く、

8月の1ヶ月間は、朝早くから夜遅くまで夏期講習の授業が集中的に入っていました。

申し訳ないことに、ニュース教材作成の時間をほぼ取れそうにないため、発行をお休みさせていただきます。

いつもニュース教材を楽しみにしてくださっている先生方、生徒さんたちに、大変申し訳ありません。

ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

また、いつもニュース教材を使っていたに、重ねてお礼を申し上げます。

英語ニュース教材発行は、9月から、通常通り再開します。これからもよろしくお願いいたします。

[8月のニュース教材について]

★YouTubeの英語ニュース動画は、通常通り、週に1回発信します。授業で使っていただければ幸いです。

<https://www.youtube.com/@yukienglishnews9933>

★過去の教材を、こちらで販売しています。お使いいただければ幸いです。

https://yuki-tsubaki-news.com/back_number/

[1ヶ月の期間延長について]

クレジットカードで、数カ月先まで教材費をお支払いいただいている会員の先生方の、

期間延長について、ご案内させていただきます。

8月は休刊となるため、「6ヶ月コース」あるいは「12ヶ月コース」を申し込んでいただいている

すべての方の期間を、1ヶ月延長させていただきました。

(6月1日の朝10時頃、一度目の処理が、7月1日の朝10時頃、二度目の処理が終わっています)

例えば、

★A先生:4/1～9/30の期間、小・中6ヶ月コースを申込み済み

→「5/1～10/31の期間、小・中6ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

★B先生:昨年11/1～今年10/31の期間、小・中・高12ヶ月コースを申込み済み

→「昨年12/1～今年11/30の期間、小・中・高12ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

※6ヶ月コース・12ヶ月コースで申し込んでいただいている方のうち、申込期間が8月以前に終わってしまう方や、

1ヶ月コースで申し込んでいただいている方は、ステータスの変更は特にありません。

ご自分の会員ステータス(いつから、いつまで申し込んだか?)が、

わからなくなってしまった方は、お手数ですが、私のメールアドレスの tsubaki.yuki1229@gmail.com

まで、個別にお問い合わせください。

2024年7月第2週【7/12発行】

小学生用教材 ローマ教皇、G7 サミットでスピーチ 模範解答と指導の手引

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているの、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んだから仕上げに暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事

6 月第 4 週の高校生用教材の 3 ページを要約しました。

0. 低学年用 英語ニュース

生徒さんの対象年齢は、特に決まっていますが、目安として、下記の生徒さんを対象に作っています。

- 1 ページ・・・小学3年生～英語を習いたての6年生など(普通の小学生教材が長くて難しそうな生徒さん)
- 2 ページ・・・小学1～3 年生、園児さん、ニュースに高い関心を持つ生徒さん

1 ページ

Q1 Italy ※イタリアのメローに首相(G7サミット開催国首長)が、ローマ教皇を招待しました。

ローマ教皇がG7サミットに参加するのは、初めてのことです。

Q2 the Vatican City(バチカン市国)

Q3 Tokyo Disney Land ※次のページのQ4の解説をご覧ください。

Q4 AIは(便利)だけれど(危ない/危険)

Q5 白いダウンジャケット/a white puffer jacket ★バチカンの国旗に色塗りをしてください。

2ページ

Pope Francis, Vatican, AI, Italy をなぞって、発音を練習しましょう。

Q1 Russia Q2 Vatican ※2 つの国を世界地図または地球儀で探しましょう。

Q3 Disney Land ※次のページの Q4 の解説 w ご覧ください。

Q4 white

1. 小学・高学年用 英語ニュース

※名前は「小学・高学年用」ですが、中高生、社会人(大人)の短い読み物教材としても、おすすめです。

(「中学生用教材」は、中2・中3を対象に作成しているため、少し文が長くて難しめです。)

1 ページ

Q1 Italy

Q2 Catholic Church

※キリスト教には大きく分けて、3つの宗派(カトリック、プロテスタント、正教会)があります。

ローマ教皇は、カトリック教会のトップの地位です。

Q3 the Vatican City (バチカン市国) Q4 Tokyo Disney Land is.

【面積】※宿題で調べてくるのも良いでしょう！

東京ディズニーランド→約 0.51km²

バチカン市国 →約 0.44km²

Q5 AI は(便利)だけれど、(危険な／危ない)ので、私たちは(気を付けて管理しなければならない)

Q6 ローマ教皇が白いダウンジャケットを着ている画像

2 ページ

Q7 Argentina ※アルゼンチンの場所を世界地図(地球儀)でチェックしましょう。

ちなみに、歴代のローマ教皇は、ほぼイタリア人が務めてきたので、

南米出身者が教皇の地位に就くのは初めてになります。

Q8 Yes, he has. ※2019年にフランシス教皇が来日した時、東京ドームでミサをされました。

私の塾のカトリック系の中学・高校に通っている生徒さんのうち、数名がそのミサに参加しました。

教皇は学生たちに優しく、おちゃめて素敵な人だったと、生徒さん達から聞いています。

◆ローマ教皇クイズ◆

Q1 white

Q2 a cross(十字架)

Q3 Spanish ※アルゼンチンを始め、ブラジル以外の南米の国々の公用語はスペイン語です。

(フランシス教皇が英語でスピーチしている動画があまりないのは、彼が5か国語も話せるのに、英語を話せないためです。キリスト教の聖書はラテン語とヘブライ語で書かれているので、ラテン語は教皇にとってマストの言語です)

指導の手引き

★低学年の皆さん・・・世界で一番小さい国がバチカンで、イタリアのローマ市の中にあることを覚えておきましょう。

★小学校高学年以上の皆さん・・・Vatican, Pope など主要な英単語を覚えましょう。また、AIの危険性について、改めて考えましょう。

参考の情報(6月第4週の高校ニュース教材の指導の手引きと同じです)

※私が10年くらい前、TIMEで次のような記事を読みました。

【アルゼンチン出身の教皇が生まれた理由】

・・・カトリックの信者が年々減っていることに危機感をつのらせたバチカンのトップの人達が、カトリックの人気復活を願って、従来にいなかった南米出身のフランシスさんを教皇に指名したそうです。

これには、アメリカの移民問題も少し関係しています。

中南米(メキシコその他)の人々の圧倒的多数がカトリック教徒ですが、
彼らが難民としてアメリカに行くと、まず最初に彼らを優しく温かく迎えて、
親身に世話してくれる人たちは、
プロテスタントのキリスト教会の人たちです。

すると、南米の移民・難民の人たちは、長年カトリック信者だったにもかかわらず、
プロテスタントの信者に改宗してしまうそうです。

また、プロテスタント教会の礼拝は、楽しいゴスペルの歌やダンスがあって若者受けしますが、カトリックの
礼拝(ミサ)は昔ながらの荘厳なスタイルで、若者に受けがあまり良くないそうです。(※このプロテスタント
とカトリックの礼拝スタイルの大きな違いに関しては、
私のヨーロッパ人の友人からも、似たような話を聞きます)

このようにして、カトリック信者が減り、プロテスタントの人气が高まっていることにバチカンが危機感をつ
のらせた結果、フランシスさんを教皇に選んだり（そうすれば南米の人たちがカトリックに注目します）、
マザーテレサを聖人認定したりして、カトリックの存在感を世界に向けてアピールしている・・・という内容
の記事でした。(私の記憶を頼りに書いているので、原文や出典がはっきりしていなくて申し訳ありません。
これを日本語に訳した記事を、半年後に『クーリエ・ジャポン』でも読み、よく記憶に残っています)

★歴代のローマ教皇の出身地

※Historically, the majority of popes have been from Italy, especially before the 20th century.

Pope Francis (2013–present): Argentina

Pope Benedict XVI (2005–2013): Germany

Pope John Paul II (1978–2005): Poland

Pope John Paul I (1978): Italy

Pope Paul VI (1963–1978): Italy

Pope John XXIII (1958–1963): Italy

Pope Pius XII (1939–1958): Italy

Pope Pius XI (1922–1939): Italy